

東野高等学校PTA

本校は、1985（昭和60）年 埼玉県入間市二本木に全日制普通科男女共学の私立の高等学校として創設されました。周りを緑に囲まれ自然豊かな環境の中、2万坪以上の広い敷地を有しています。

敷地内には広大な池、有名建築家によりデザインされた美しい20棟以上の施設があります。設立から30年経過しましたが、今でも施設を見学を訪れる方が大勢います。

東野高等学校PTAは、1987（昭和62）年に設立されました。設立から現在まで「東野」の土壤に開花した特色のあるPTA活動を行ってきました。

現在でもPTA設立当初から変わらない下記の4つの方針に基づき活動しています。PTAの活動を活発にするために大勢の参加者を募り、意見交換し行事活動を行います。

会員相互の協力と教養の向上のため、クラス・学年の親睦を図ると共に東野高等学校の教育活動に積極的に参加・協力します。他団体との協力を深めるために地域の施設、団体と協力し、交流を深めます。

教育設備の為に教育環境についての理解を深め、環境の改善に協力します。また、教育条件の公私間格差の解消に取り組めます。

- また、PTAの主な年間行事は
 - 5月 東野高等学校PTA総会
 - 7月 PTA研修旅行
 - 9月 講演会（学校と協賛）
 - 9月 盈華祭（文化祭）PTA本部・各委員会でブース設営
 - 12月 次年度役員選考に向け選考委員会設置
 - 年間 ○運営委員会（年8回）
 - 広報誌「はなみずき」発行（年3回）
- その他、埼玉私学保連の研修会、私学振興大会へ参加しています。

広報委員長：横手 伸行
委員：山川 喜之、岡崎 吉宏、加藤 知徳、井上 晴美、大山 陽子

平成28年度 埼玉私学保連役員一同



1年間、どうぞよろしくお願ひ致します



東野高校のシンボルである大きな池

今年7月のPTA研修旅行は、猛暑の中でしたが世界遺産富岡製糸場の視察研修をしました。保護者も多数参加しましたが特に学校の先生にも大勢参加を頂きました。

昨年の盈華祭においては、1～3年の各学年委員会でブースを設けアクアビーズ、アロマジェル、ストラップの作成、販売を行いました。また、池の会委員会では、池の管理活動の展示、飲料の販売を行い、私学請願委員会でも署名活動を展開しています。

東野高等学校敷地内には、学校のシンボルである大きな池（6月の体育祭ではカヌー競漕が行われます。）がありますが、この池を維持する為、PTAに池の会委員会が設けられています。池の会委員会では池の清掃を行っています。また池の水を浄化するためにポンプで水をくみ上げ沼に貯め里山の各水路を介して池に戻す、自然を利用した浄化システムを作成し、このシステムを維持管理する為に、定期的にポンプの手入れや水路、里山の清掃を行っています。この作業により、学校のシンボルの池、里山の景観が守られています。

東野高等PTAでは今後も学校の教育活動を支援して、活動を通じて会員相互の親睦を深める様、また、多くの会員がこの活動に参加できる様に務めてまいりたいと思います。

平成28年度 埼玉私学保連 役員

- 会長 小林 哲也（東京農大第三）
- 副会長 佐々 智美（春日部共栄）
- 副会長 横手 伸行（聖望学園）
- 副会長 丸茂 治美（城北埼玉）
- 副会長 高橋 大介（本庄東）
- 会計 山川 喜之（浦和実業学園）
- 会計 齋藤 美保（西武台）
- 書記 茂木 亜矢（狭山ヶ丘）
- 書記 島谷真喜子（城北埼玉）
- 理事 津野みどり（大宮開成）
- 理事 上村 伸二（武蔵越生）
- 理事 桑原優美子（大宮開成一貫部）
- 理事 佐藤 和美（浦和ルーテル学院）
- 理事 大村 美幸（狭山ヶ丘）
- 理事 岡崎 吉宏（本庄第一）
- 理事 齋藤 香織（浦和実業学園）
- 理事 宮下 早苗（山村学園）
- 理事 加藤 知徳（叡 明）
- 理事 井上 晴美（東 野）
- 理事 大山 陽子（埼玉栄）
- 監事 中野 英幸（城西川越）
- 監事 小澤 正和（山村学園）

以上22名で頑張っておりますので1年間どうぞよろしくお願ひいたします。

Saishigaku horen NEWS

発行/埼玉県私立小学校中学校高等学校保護者会連合会（略称：埼玉私学保連）
所在地/さいたま市浦和区高砂4-13-20 埼玉私学会館内 TEL.048-866-4478 FAX.048-866-4479



会長就任あいさつ

埼玉私学保連 会長 小林哲也

平成28年度の定期総会で、会長に再任されました小林哲也です。本年も引き続きご支援ご協力をお願い申し上げます。

埼玉県私学の保護者の皆様には、日頃より埼玉私学保連の活動にご理解ご協力を頂き誠にありがとうございます。本年も埼玉私学保連は青少年の健全育成と私学振興を目的に掲げ、埼玉県私立中学校高等学校協会とともに車の両輪のごとく活動をしてまいります。

お陰様を持ちまして、昨年は会員皆様方の思いの結集とともに、自民党県議団の小島信昭会長を中心とする「私学振興懇話会」の力強い応援を頂き、あわせて埼玉県執行部のご尽力により保護者負担金（全日制高校の授業料と施設費等納付金）について年収350万円未満世帯まで実質無償化であったものが、本年平成28年度より年

父母負担金が以下の様に軽減されました。

埼玉県私立高等学校等父母負担軽減事業補助制度とは
埼玉県では、県内の私立高等学校等に通学する生徒の経済的負担を軽減するため、授業料等軽減補助を行っています。対象は県内にある私立の小・中学校、高等学校、特別支援学校及び高等専修学校（3年制）に通学する生徒です。私立高等学校・特別支援学校（高等部）・高等専修学校（3年制）
平成22年度から私立高等学校生等を対象として、国から「就学支援金」が支給されるようになりました。また、一定の要件を満たす方に対し、上乘せる形で埼玉県から補助を行っています。いずれも学校を通じて、申請の受付や補助を行います。

ご注意：申請受付や補助金の支給方法等につきましては、学校によって異なります。詳しくは学校にお問い合わせください。

私学保連とは

【埼玉県私立小学校中学校高等学校保護者会連合会】
私学助成運動や青少年健全育成などの私立学校振興のため、埼玉県内の私立小学校・中学校・高等学校の保護者会の現役役員を中心とする組織として平成19年2月18日に誕生しました。
21世紀を担う青少年の健全育成や児童・生徒の安全・防災・防犯問題等についても、保護者間で情報を共有し、関係団体と相互に協力して、私立学校の充実・発展に寄与していくことを目指しています。

収500万円未満世帯まで拡充され、生徒納付金における公私間格差の新たな縮小が図られました。これは10周年を迎えた埼玉私学保連にとって大きなプレゼントとなりました。改めて、私学振興大会をはじめとする公私間格差是正のための歴代の活動が実を結んだ一歩だと思えます。

これまでご協力を頂きました関係各位に心より感謝致しますとともに御礼を申し上げます。

しかし、当連合会の所期の目的達成にあたっては結束を緩める事無く、次の一歩に向けて歩み続けなくてはなりません。今後も埼玉県中学校高等学校協会さんと連携を取りながら子供達の健全育成は勿論、加盟校の充実発展を図り一丸となることが重要だと思います。その為にも本年も私学振興大会をはじめとする各事業にご協力いただき、連合会発展の一年となりますようお願いを申し上げ、会長としての挨拶とさせていただきます。

埼玉県私学振興大会

日時：平成28年11月17日（木）
14時～16時 予定（受付：13時～）
会場：さいたま市文化センター
多くの皆様のご参加をお願い致します。

<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0204/fubofutan2.html>



左記QRコードを読み込むと、埼玉県の父母負担軽減事業補助制度のHPへリンクしています。お試しください。

埼玉私学保連活動の報告

平成 28 年度 埼玉私学保連

第 1 回加盟校等代表者連絡協議会報告 副会長 横手伸行

5月15日(日)14時より「ラフレさいたま」にて平成28年度第1回加盟校等代表者連絡協議会が開催されました。加盟校44校、47団体中38校の代表者約90名が参加し、平成28年度の役員候補者の推薦などの協議・各校の情報交換が行われました。

今年度は創立10周年記念事業の準備もあり、記念誌への原稿協力についてもお願いしました。



第1回加盟校等代表者連絡協議会

平成 28 年度 埼玉私学保連 定期総会報告 副会長 横手伸行

6月5日(日)14時より「ラフレさいたま 3階 櫻ホール」において、加盟校44校47団体中37団体の参加を頂き、盛大に開催されました。

小林会長挨拶、ご来賓のご挨拶の後ご来賓紹介、加盟校・参加校紹介、議長選出と進み、

- (1) 平成27年度事業報告
- (2) 平成27年度決算報告・監査報告
- (3) 平成28年度役員(案)
- ・旧役員退任挨拶・新役員就任挨拶
- (4) 平成28年度活動方針・事業計画(案)
- (5) 平成28年度予算(案)

以上、5議案全て満場一致にて、可決・ご承認を頂きました。

また、今年度予定されている埼玉私学保連創立10周年記念事業について実行委員会の進行状況や予算の執行状況についても報告しました。

総会終了後の懇親会では、各団体の紹介や学校間の交流・意見交換などが行われ和やかな雰囲気の中、今後の活動にも有用な形で閉会となりました。



平成28年度定期総会 会場状況

平成 28 年度 日私学保連総会・研修会(愛知大会)参加報告 副会長 丸茂 治美

日私学保連 平成28年度総会・研修会(愛知大会)が7月21日22日の2日間、

『今こそ私学から発信 ～教育が未来を拓く～

—21世紀(あす)を担う子供たちのために—

をテーマに名古屋観光ホテルで開催され、代表者68名総勢130名の出席となりました。

埼玉私学保連から、小林会長・丸茂副会長、またオブザーバーとして抜井前副会長・佐竹前副会長、事務局から岩山財務部長が出席いたしました。

ご来賓の馳文部科学大臣のご祝辞の中で、「教育の水準維持・向上のために29年度の予算確保、最低でも28年度の予算を確保。先生方には安心して教育に取り組む体制を確保する。」と、心強いお言葉を頂戴しました。

また、「建学の精神に基づく個性豊かな教育の実践をする私立学校が、人材育成の一助を担っていることに間違いはなく、教育の第一責任者は保護者であり学校と保護者が心を合わせる私学の姿勢はまさしく子どもたちを支え、子どもたちを支えることが国を支える第一歩である。」と私学に対して寄り添ったお言葉を頂戴しました。

功労者表彰では、抜井前副会長・佐竹前副会長が表彰されました。

その後、滞りなく議事が進行され、続いて『私学振興と保護者の役割』と題して日私学保連近藤副会長によるご講演、

「*教員は使命感を持つべき。

*生徒は学ぶ時代を選べない。目の前の生徒のために最善の努力をするべき。

*人は生きる時代を選べません。与えられた時代を懸命に生きていくべき。

その上で、私学の自由・独自性を守っていくためには、父母を中心とする皆様のご支援が必要であると考えます。

これからも子どもたちのため、孫や玄孫のため、一緒に努力していきましょう。」とお話を頂きました。

私たち保護者に、何ができるのか。押し付けでもなく無関心でもなく、学校と寄り添い私学教育の充実のために惜しみない努力・協力をしていかなければと改めて認識する総会・研修会となりました事を報告させていただきます。

研修会2日目は、こころぎふ臨床心理センター長 長谷川 博一氏『子どもの未来にとって大切なもの』ご講演の後、臨地研修へ。徳川美術館・名古屋科学館へ行って参りました。

美術館には、国宝「源氏物語絵巻」をはじめ刀剣・服飾品など多岐にわたって展示されていました。さすが尾張徳川家。目を見張るものばかりでした。

2日間の研修会では、大変貴重な体験をさせて頂きました。ありがとうございました。

来年度の日私学保連研修会は千葉県開催予定です。



馳 浩文部科学大臣



日私学保連総会「表彰式」

平成 28 年度 埼玉私学保連研修会報告 副会長 高橋大介

8月25日(木)「ラフレさいたま」にて、加盟校41団体・247名のご参加を賜り、研修会および第2回加盟校等代表者連絡協議会が開催されました。

第1部の講演会では「人間関係における笑いの効用」と題して、日本笑い学会秋田県人会長・人星亨喜楽 師匠をお招きし、『生きているだけで丸儲け!』の人生哲学を元に、人を笑わせる事は相手に対する思いやりであり、家庭での笑顔の数を増やすことを今日からはじめましょうと、800以上ある笑いのネタを惜しみなくご披露くださり、会場内は笑いの渦に包まれました。(笑)

第2部では2校による保護者会活動の発表が行われました。

【開智未来中学高等学校保護者会の活動発表】

保護者間での情報交換の場としてホームページを活用。ホームページ上で各種情報を公開し、保護者がそれに対する考えの意見交換ができる場を提供している。

これにより保護者の学校教育に関する意識も高まり成長する事で、子どもの成長へと繋げていく。



開智未来中学高等学校保護者会 発表の様子

【武蔵越生高等学校PTAの活動発表】

支部委員会・学年委員会・広報委員会・本部の4つの運営委員会があり、支部懇談会では地区担当の先生と直接情報交換することが出来る。

文化祭への参加(バザー・会場設営等)、広報誌「ささりんどう」でPTAからのお知らせや学校行事・先生の紹介などをし、精力的に活動されている。今年で開校60周年を迎え、全天候型のトラック等を新設。



武蔵越生高等学校PTA 発表の様子



【第2回加盟校等代表者連絡協議会】

例年10月に開催しておりましたが、参加者の負担軽減を鑑みて、今回は同日開催となりました。各校から事前にご提出頂いた特徴的な保護者会活動の取り組み状況を小冊子にまとめる事で、会議の時間短縮が図れたばかりか、各自学校へ持ち帰り、他校の活動が一目でわかる参考資料としてご活用頂いたというお言葉を頂戴する事が出来ました。

ご協力賜りました皆様、ありがとうございました。



人星亨喜楽 師匠による講演



平成28年度研修会 会場状況



第2回加盟校等代表者連絡協議会

平成 28 年度 関東地区私学保連(神奈川大会)参加報告 副会長 佐々智美

8月26日(金)横浜ロイヤルパークホテルにおいて関東地区私学保連代表者会および研修会が行われ、埼玉私学保連からは小林会長・佐々副会長・丸茂副会長・山川理事・齋藤香織理事・大村理事・井上理事、事務局から、小川事務局長・岩山財務部長の9名で参加いたしました。代表者会においては、

①各県の活動報告

②各県との情報交換

③次期開催県(平成29年度は埼玉県にて開催)

についての3点を中心に、協議・報告が行われました。

その後の研修会では「子どもたちの将来を考える」というテーマに基づき、横浜高校硬式野球部終身名誉監督 渡辺元智氏による講演が行われました。50年間高校野球に携わられた豊富な経験をもとに、失敗や敗北から学ぶことの大切さについて、数々の実践例を交えてお話していただきました。特に、「子どもを育てる」ことの根本には必ず愛情があること、命を懸けるくらい真剣に向き合うこと、と先生自身の反省も含めて熱心に語られていて、親として日々の子育てや子どもとの向き合い方について深く考えさせられる講演となりました。



関東地区私学保連神奈川大会 会場状況